

2023宮城県議選 立候補予定者 こども・子育て政策に関するアンケート

回答者名【松本由男】 立候補予定選挙区【宮城野】 所属政党【自由民主党】

問1. 子どもをもう一人、と望む家庭でも経済的理由から二の足を踏む親御さんもいると聞きます。東京都の018サポートや、大阪府の子育て世帯向け食料支援など、経済支援を行っている都道府県もありますが、子どもを生み育てやすい県にするために、宮城県には何が必要と考えますか？

ズバリ、将来に安心感が持てるようにすること。具体的には、産学官民が連携できるような「しくみづくり」をすること。この際、ベーシックインカムを導入を推奨したい。

問2. 埼玉県議会で提出されていた虐待禁止条例の一部改正案については賛否両論の声があがっていました。宮城県においてもこのような法案が必要と考えますか？

詳細は抑えていませんが、基本的にはこのような条例は最終段階であり、現場の声をしっかりと聴取して他の手段等により解決していくべきものと思料します。

問3. 子育て世帯の関心が高いいじめ問題ですが、宮城県としてどう対策していくべきと考えますか？

子どもを社会全体で支える風土をつくっていくことが求められます。

問4. ひとり親家庭には、医療費のサポートがあるものの、一度立て替えた上で後日振り込まれる方法となっており、経済的に厳しいという声があります。これについてどうなっていくべきと考えますか？

他の制度にもあるように、基本的には建て替えがないように制度設計していくべきと思料します。

問5. 今年8月に発表された宮城県医療的ケア児等相談支援センター(愛称:ちるふぁ)の調査によると、医療的ケア児は県内に333人います。支援は進んでいますが、一方当事者からはまだ相談してもらいたい回しになるという現状は変わっていないという声もあります。医療的ケア児の相談体制としてはどうなっていくべきだと思いますか？

基本は相談窓口を一つにして、産学官民が連携ある体制づくりが求められます。

こども達のために、日本を変える

Florence